

④ 根津神社と谷根千コース

(約3km 2時間半)

谷中は昔、江戸城から見て鬼門の方角にあたり寛永寺が建立され、周辺には寺院が多く集まりました

根津は根津神社を中心にその門前町として栄えた街

千駄木は夏目漱石や森鷗外が居を構えるなど、数多くの文人墨客に愛された街

そんな多彩で文化や歴史に彩られた地域に、最近ではノスタルジックな街並みに個性的なお店が点在する人気のエリアが加わる「**根津神社と谷根千コース**」のスタートです



Google Map より作成

「**谷根千**」の名前の由来

この地域に住む若い母親たちにより昭和59年に創刊された地域雑誌「谷中・根津・千駄木」から言われ始めた地域名です。

地域雑誌『谷中・根津・千駄木』94号（終刊号）



谷中 上野台地と駒込台地の中間の谷であることから名付けられました。

根津 入江の一番奥まったところという意味です。

約6千年以上前、不忍池が海とつながっていた頃は根津付近にも海水が入り込んでいました。

千駄木 この辺り一帯が雑木林で一日に刈り出す薪が千駄にも及んだから、寛永寺へ護摩の木を千駄納めたからなど諸説あります。

江戸時代の谷根千

切絵図の小石川谷中本郷絵図（万延2年 1861年）です。
切絵図とは江戸時代に書かれた古地図で、
武家屋敷・寺社・町家などが描かれています。



根津神社です。
緑や花に囲まれた社殿
が描かれています。

谷中には数多くの寺院
が集まっています。

不忍池へと続く水路が
縦横に描かれています。

「本郷湯島絵図 万延2年（文の京デジタル文庫）」

根津神社

文京区根津1-28-9



写真提供文京区

根津神社のご由緒は、1900年程前、日本武尊が千駄木に創祀したとされ、その後太田道灌により社殿が造られました。

現在の根津神社の場所は 江戸時代、5代将軍徳川綱吉の兄 徳川綱重（甲府藩主）の山手屋敷でした。綱重の嫡男で6代将軍家宣の生誕地で、将軍の胞衣塚えなづか もご覧いただけます。綱吉は根津神社を養嗣子ようししにした家宣の産土神とし、千駄木にあった旧社地から現在の根津の地に移し、宝永3年（1706年）に天下普請で権現造の社殿を造営しました。

社殿・楼門・唐門・西門・透塀は、国の重要文化財に指定されています。



写真提供文京区

根津神社は、100種3000株のつつじが植えられた都内随一のつつじの名所です。

4月中旬から5月初旬はつつじ祭が開催され、美しいつつじを間近にお楽しみいただけます。

谷根千 坂道めぐり

個性豊かで魅力的な谷根千の風景を引き立てているのは、数多くの坂道かも知れません。



新坂、権現坂、S坂など
(色々な名前がついています)



ほたる坂



あかぢ坂



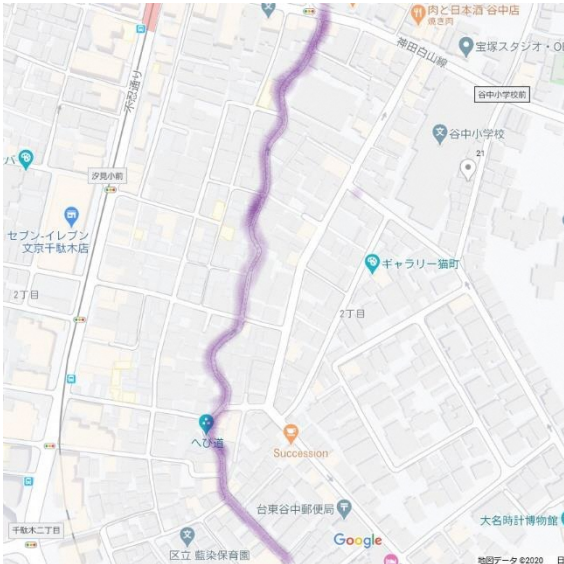
七面坂



三崎坂、首振り坂など
(色々な名前がついています)

谷根千の暗渠 へび道

谷根千エリアには個性的な道が沢山あり、その中のひとつが「へび道」です。
文京区千駄木と台東区谷中の区境の蛇行した道路で、**藍染川**の暗渠です。



Google Map より作成

巣鴨の染井を水源とした**藍染川**は不忍池へ注いでいました。

藍染川の名の由来は、川筋に染物屋があり川の色が**藍色**に染まっていたからともいわれています。

藍色に染まった川を想像して歩くのも楽しいですね。



丁子屋
(染物店)

谷中 お寺巡り

古い歴史をもつ**谷中**のお寺は見所いっぱいです。



新義真言宗 蓮葉山妙智院**観音寺**

台東区谷中 5-8-28

土と瓦を交互に積んだ重厚感のある塀（築地塀）は寺町**谷中**を代表する景観で「台東区まちかど賞」を受賞しています。

江戸時代の風情を感じます。

臨済宗 普門山**全生庵**

台東区谷中 5-4-7

幕末から明治に活躍し、剣・禅・書の達人ともいわれる山岡鉄舟が開基したお寺です。





日蓮宗 高光大円寺

台東区谷中 3-1-2

正面にふたつのお堂が並んでいます。
左は経王殿、右は瘡守稻荷を祀る薬王殿です。

谷中銀座商店街

夕焼けだんだんの階段で有名な谷中銀座商店街がこのコースのゴールです。

「根津神社と谷根千コース」では、この他にも、歴史のある根津教会・緑豊かな岡倉天心記念公園などをご案内します。
また、金太郎飴の専門店や江戸千代紙の老舗など、谷根千ならではの魅力的なお店の前も通ります。
解散後は下町情緒あふれる谷中銀座商店街や近くのよみせ通りでのお買い物も楽しみですね。



谷根千は、新しくてユニーク、そしてどこか縁を感じる懐かしさが漂う街並みです。何度歩いても、常に新しい発見のある街でもあります。

次回は是非一緒に歩きましょう。
皆様のお越しをお待ちしております。



[ガイドツアーのお申し込みはこちら](#)

「構成、文 文京区観光ガイド」（出典の記載のない画像は筆者撮影）